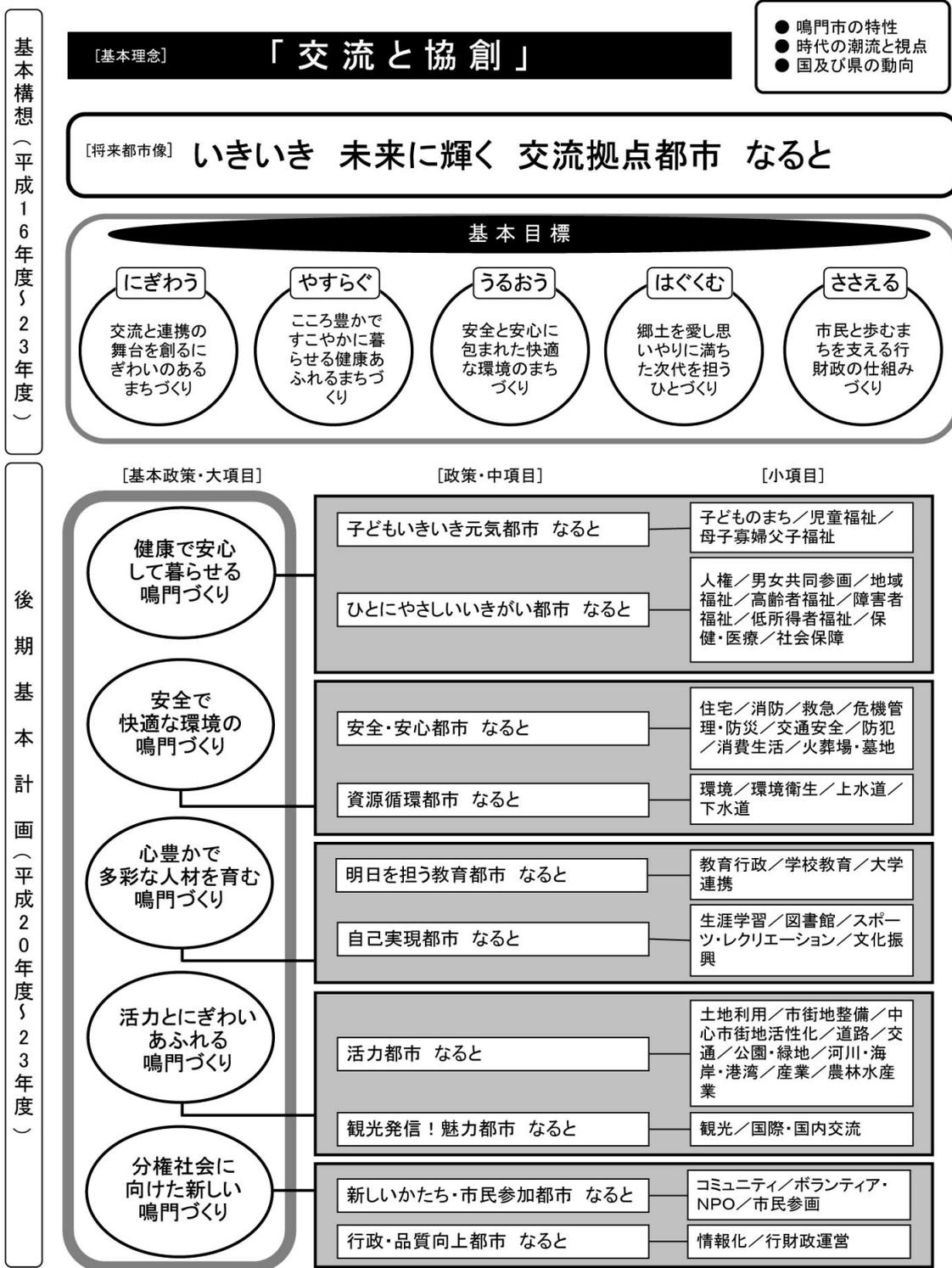


5 上位・関連計画

5-1 第五次鳴門市総合計画 後期基本計画

(1) 基本構想・施策の体系

「第五次鳴門市総合計画 後期基本計画」は、鳴門市の目指すべき方向を実現するための施策を明らかにし、総合的・体系的かつ計画的なまちづくりの指針となる、市政の最上位の計画であり、以下の構想・施策が示されている。



図一 基本構想・施策の体系

(2) 公共交通関連施策

「第五次鳴門市総合計画 後期基本計画」に位置づけられる公共交通関連施策は下表のとおりである。

高速鳴門バス停留所を結節点とする広域交通網の充実・観光の振興のほか、利用者ニーズや経営安定化に対応した市営バスほか公共交通機関の確保・充実を目指す施策となっている。

表一公共交通関連施策

施策	基本事業	施策の内容	
公共交通網の充実	広域交通網の整備促進	高速バス交通網の整備	四国の東玄関に位置する地の利を活かし、高速鳴門バス停留所のハブターミナル化を推進するとともに、停留所周辺エリア「ふるーあ鳴門」のさらなる機能充実を図り、利用者の利便性・効率性の向上に努めます。
		徳島空港の機能拡充の促進	大型機の離着陸を可能にする空港拡張事業の早期完成と路線の拡大を、関係機関に要請します。
	公共交通機関の確保・充実	市営バス事業の経営改善	事業規模の再検討を含めた事業見直し、競争原理に基づいたサービス水準の向上、公共交通全体の利用促進や保有資産の有効活用など、交通事業を取り巻くさまざまな条件の変化に対応できる事業運営をめざし、鳴門市運輸事業基本計画に沿って経営の効率化・安定化を図ります。
		市営バス路線の新たな運行形態導入の推進	多様化する利用者ニーズに柔軟に対応するため、地域公共交通会議を設置し、将来にわたる新しい輸送サービス・運行形態の導入に取り組んでいきます。
		民間交通機関の確保・充実	民間バスの生活路線の確保、J R鳴門線の利便性の向上などを関係機関へ要請します。
観光・交流のまちづくり	受け入れ態勢の整備	交通手段の確保	観光客がスムーズに移動できるよう、徳島空港、高速バス停留所、J Rの駅など主要交通拠点と観光地、また、それぞれの観光スポット間を有機的に結ぶ移動手段の確保・改善に取り組みます。
		ふるーあ鳴門の機能充実とハブターミナル化の推進	高速鳴門バス停留所及び周辺エリア（ふるーあ鳴門）における観光客の利便性向上のため、観光情報センターでの案内サービスの充実に努めます。また、本州と四国ならびに周辺地域を結ぶ高速バス交通の結節点として、ハブターミナル化を推進します。

5-2 鳴門市観光振興計画

鳴門市では、平成19年3月、鳴門市観光振興計画を策定し、渦潮を核として市内の魅力的な資源を活かし、つなぐことにより、『渦巻く市民力が創る 観光・交流都市「なると」』を基本理念とするまちづくりを進めることとしている。

公共交通に関しては、下表のような施策が位置づけられている。

表一公共交通関連施策

施策	内容
ふるーあ鳴門の機能充実とハブターミナル化の推進【重点施策】	高速鳴門バス停留所及び周辺エリア（ふるーあ鳴門）における観光客の利便性向上のため、観光情報センターにおけるサービス機能の充実を図るほか、高齢者や障がい者にも優しい観光交流都市・鳴門づくりをめざし、エレベーターの設置などの環境整備を行う。また、四国の玄関口という立地条件を活かし、高速バス会社等に高速鳴門バス停留所の停車を呼びかけるなど、各種PR活動に積極的に取り組み、本州と四国ならびに周辺地域を結ぶ高速バス交通の結節点としてハブターミナル化を推進する。
鳴門公園～大麻地域の交通手段の確保	市内の2大観光拠点である鳴門公園と大麻地域をつなぐ交通の利便性向上のため、効率的な移動手段の確保について検討を行う。観光客が集中する季節、曜日、時間帯なども考慮し、2地域間に点在する歴史・文化資源などの観光スポットを有機的に結ぶ運行形態などについて研究する。また、タクシー協会が行っている「徳島・鳴門周遊タクシー」の周知徹底、レンタカーやタクシーに関する情報提供など、観光客の移動手段の確保・改善に取り組む。
主要交通拠点からの二次交通の向上策検討	高速バス停留所や徳島空港、JRの駅などの主要交通拠点から市内の観光地への移動をスムーズにするため、運輸関連事業者と運行形態について検討するとともに、レンタカーやタクシーを利用しやすい情報提供などについて工夫を行う。